

第21回 「城里町ふれあいの船事業」 in 北海道



①船甲板見送り②ブリッジ見学③サケのふるさと千歳水族館④ホステルひまわり⑤ラフティング⑥旭山動物園
⑦創作活動⑧夕食⑨小樽市内散策⑩ウポボイ見学⑪感想文作成

7月21日(火)から7月25日(土)まで、町内の小学校6年生86名(9班編成)が参加して、「城里町ふれあいの船事業」が実施されました。

この事業は、北海道の雄大な自然の中での活動や船を利用した集団活動を経験し、通常の学校生活では得ることのできない自然とのふれあいや互いの心のふれあいを通して、心身ともに調和のある人間形成を図ることを目的としています。

【ふれあいの船行程表】

1日目

出発式(常北公民館)
大洗港出港

2日目

ふれあい活動(はがき作成)
苫小牧港入港
サケのふるさと千歳水族館
宿泊地到着(ホステルひまわり)
ふれあい活動

3日目

ラフティング(もしくは創作活動)
旭山動物園
宿泊地到着(定山溪万世閣ミリオーネ)

4日目

小樽市内散策
小樽での昼食
ウポボイ見学
苫小牧港出港

5日目

感想文作成
解散式(船内)
大洗港到着
城里町帰省(常北中学校)

実り多い5日間

出発式では、加藤木 瑠斗さん(桂小)が代表してあいさつし、家族に見送られながら元気に出発しました。

大洗港から苫小牧港までは、約16時間。船中では、親睦を深めるための交流や、家族へのはがき作成などを行いました。

北海道到着後は、サケのふるさと千歳水族館にて記念撮影を行い、サケの仲間や北海道の淡水魚を中心に世界各地の様々な淡水魚を観察しました。

2日目以降はラフティングや旭山動物園、ウポボイなどで北海道の雄大な自然や歴史、文化にふれ、理解を深めることができました。

また、班別行動では高校生リーダーと班長・副班長を中心に計画を立て、限られた時間を有効に使って活動しました。

解散式では、角田 夢色菜さん(沢山小)が代表してあいさつし、この5日間の研修を締めくくりました。

5日間の研修を終えて

「城里町ふれあいの船事業」を通して、知らない児童同士が互いにふれあい、集団生活におけるルールやマナー等を身につけることができました。また、各班のリーダーである高校生の成長も日に日に感じ取ることができ、非常に有意義であったと思います。

子供たちには、5日間の集団生活でお互いに助け合い、認め合い、感謝し合う気持ちが芽生え、解散式では深い感動と充実感が見て取れました。5日間という短い期間で一人ひとりが成長を遂げ、心に強く残る船の旅となりました。

また、5日間の研修期間中、大きな事故やけがもなく、参加者全員無事に帰ってくることができました。